



七



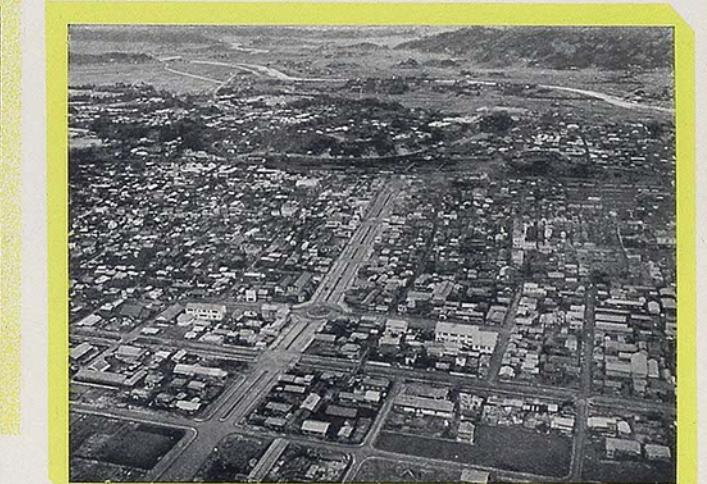
駅前商店街



松ヶ岡公園



市役所



公会堂



丹後沢



松ヶ岡公園 (丹後沢より一望)

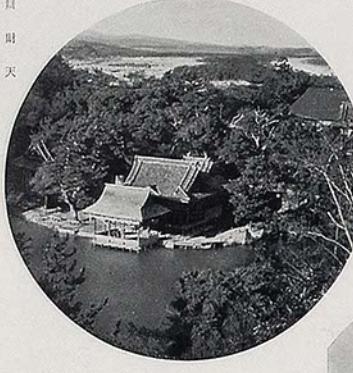
**市**

常磐線  
越後線  
平起点駅

平市は福島県の東南端に位置し東京から東北に三百十三秆の位置にある  
味肥浜で海の資源に恵まれ交通の四通八達水戸仙台間にある  
一大文化都市である。喜多の先駆者開拓安藤政信正叔の旧下野町で明治  
二十二年貿易製糸と同時に精錬を施行、昭和十一年郡村平塚村  
大合併して精錬を有さず更に昭和二十五年新野、神谷村を、昭和  
二十九年西間、高久、夏井、高野の一町三ヶ村を、昭和三十一年南赤  
井を合併して面積二〇六六平方キロ、人口七万九千人となる。  
中央部を主井川が流れ東は大字市に面し西は井川、水谷、湯の  
原が併立し此の間に面積八億五千方キロと有われる常磐坂田が介  
在しておお平洋沿岸は古より繁盛七沢と呼ばれ県内海産物の九割  
を占める港湾水産地である。

特に温泉街で観光客などに訪れている。

**○平城跡 (駅の北側字真上方の岡)**  
物見ヶ岡にあり元長五年(約三五一年前)鳥居忠政  
の築城により成城の御守護信正候のときに官軍に攻め  
て焼失した。  
この地は現在広く市を二町に分めることがある。



#### 道の駅会見式（平成よりバタフライ）

大光山は霞城館脇筋に境内の御殿跡<sup>12</sup>を残す他の遺跡として知られその跡地は全国と云ふされ、昭和16年6月16日天皇御誕生日に指定された。クダラの天然記念物で全国最古のもので實は御殿跡は高木町一丁目百段で三井山方にまで繋がる水の本流を伏せ静謐の気氛をもつた庭園である。若者この古跡で御殿跡は必ずしも窮屈な形をとらうとする従前から効果的、実用的なる着想を發揮するに忍れたのであればさういふ點だけをうそする能くナガリヤ<sup>13</sup>と云ふべきだ。御殿跡が跡を以てかねば何とは思はるウカナギや大野が集つて内通する所は正には無である。



如米



10



- 6 -



1



かりんの



地 大 四

避 國 地



松ヶ岡公園内 300坪に市立託児園地があり、貸、宿、販等の心動的施設、宋メラーブランド、同様ボート、近電モリカワーケート場があり児童生徒の利用多く、這足跡更衣室として使われている。



公 井 署



三見久記



日本古事記の一編制纂の中心には、  
久の御空堂から出はる御門御井に至  
る御古事記、おおむね、越えたる御  
洋に至る、風流なる一書となる御  
古の御空道はラブブクエーに最も  
夏の日光、向水御園として有名である

日本語を学ぶうえで、(1) 語彙と文法、(2) 文字と音韻、(3) 文化と思想の三つの要素が重要である。語彙と文法は、日本語の構造を理解するための基礎であり、文字と音韻は、日本語の発音や書寫を掌握するための要素である。文化と思想は、日本語の歴史や文化背景を理解するための要素である。また、日本語の表現方法や、日本文化の特徴を理解するための要素である。

平市中心の駅二ノ子



卷之三

じやんがら念佛(昭和13・14・15日)

名前は天人人が自から教えたと言はれて  
いる、和讃念佛踊りで平地方だけに見られる  
郷土色豊かな踊りである。最近盛んに踊る  
マンボ調に勢揃としたところがある。



じやんがら企画

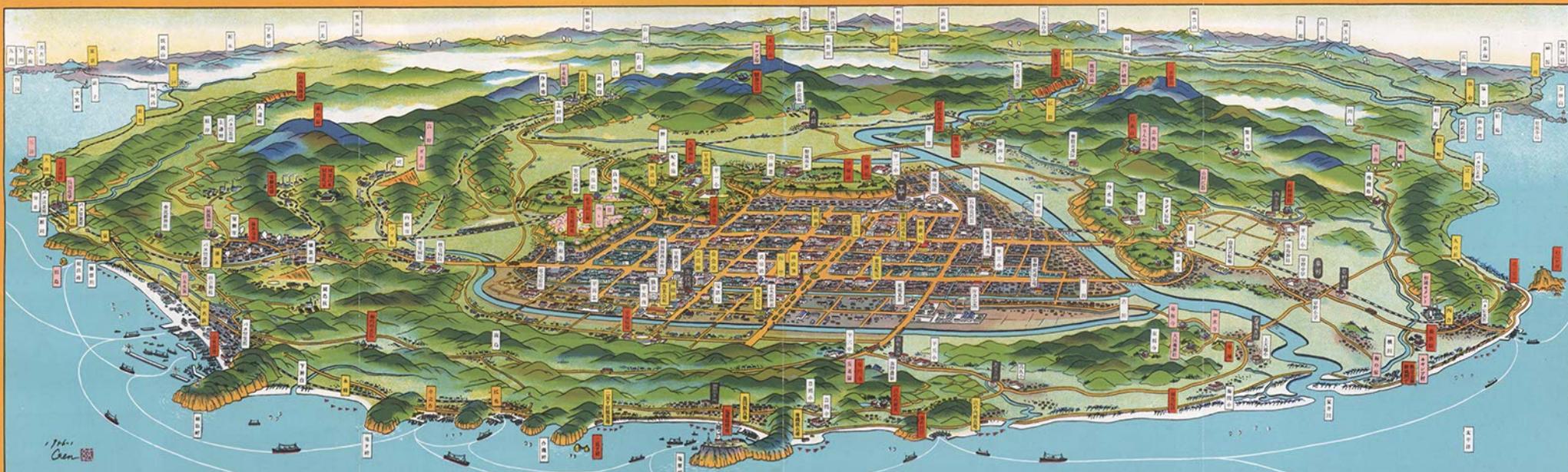


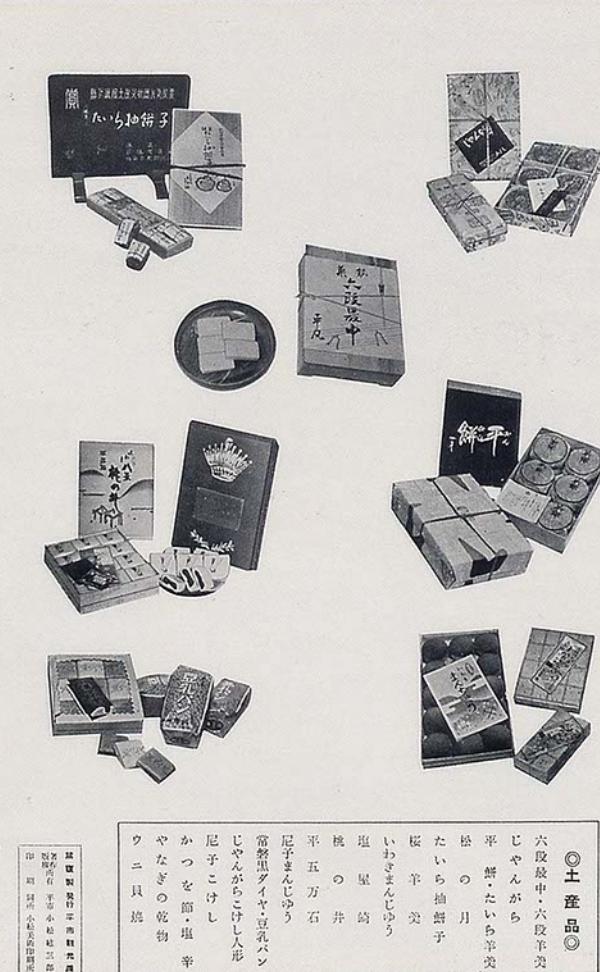
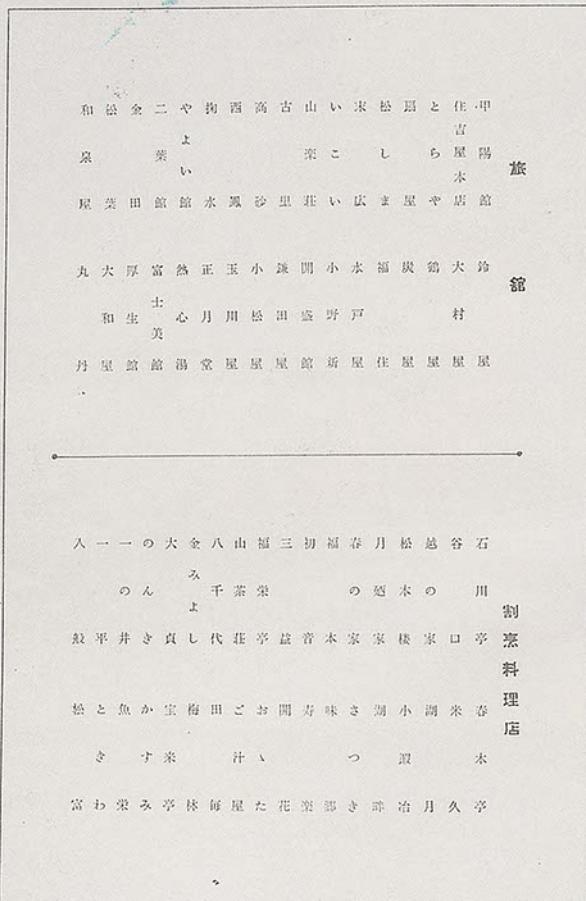
弱子集



平  
錢  
場

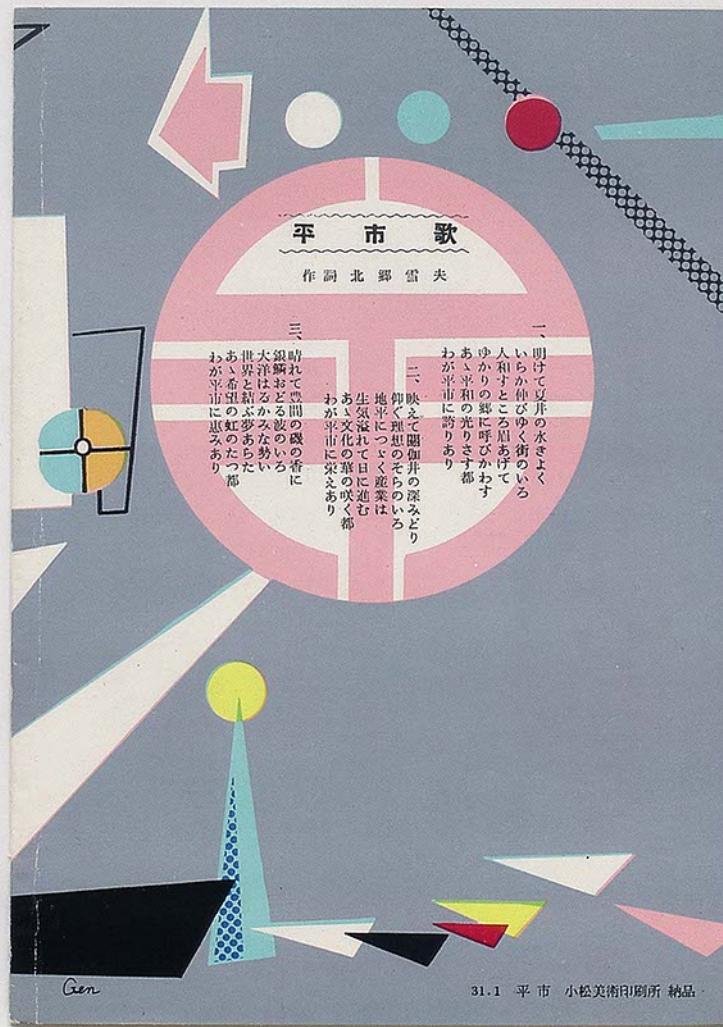
平市觀光案内図





### 近郊觀光地





31.1 平市 小松美術印刷所 納品